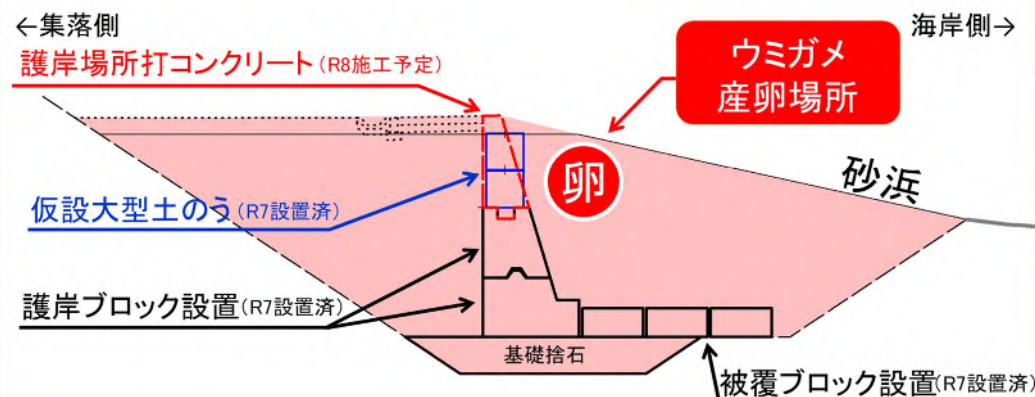


ウミガメの上陸・産卵に伴う工事中止について



横断図(ウミガメ産卵時の護岸の状況)



令和8年9月30日に、ウミガメが上陸・産卵した形跡が確認されたことから、卵が孵化するまでの期間(約60～75日間)、工事を中止します。

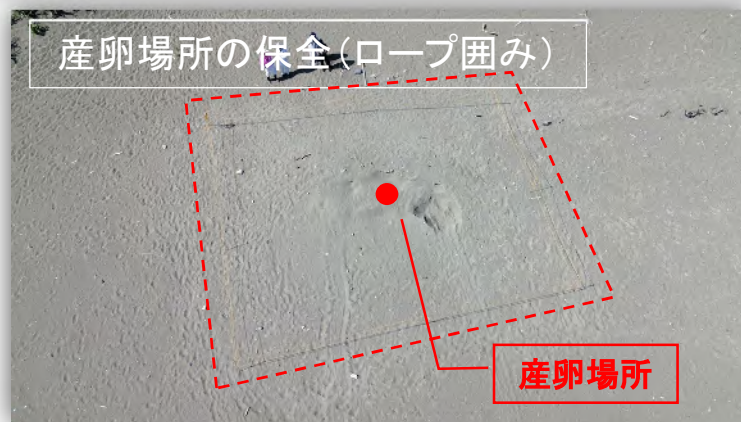
産卵したと思われる箇所は、令和7年度の工事で護岸ブロックと大型土のうを設置して一時的に砂を被せていた箇所であり、令和8年度の工事で大型土のうに替えて護岸現場打コンクリートを打設する予定の箇所です。

県としては、整備する護岸は、もともと砂丘があった位置に設置するもので、さらに自然環境に配慮して護岸前面を砂で覆うこととしているため、ウミガメの上陸・産卵への影響は小さいと考えており、今回の産卵で、そのことが事実として確認できたと認識しています。

引き続き、住民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を実現するため、自然環境等に配慮しながら侵食対策工事の早期完成に努めます。



ウミガメの上陸・産卵に伴う工事中止について



【ウミガメ調査研究関係者の意見】

- ・遅い時期の上陸であるが、産卵しており、孵化まで60～75日程度かかると思われる。
- ・これまでも加計呂麻島の徳浜地区で12月に孵化したことがあった。